

2022年11月9日
社会学研究科

2022年度リサーチ・コロキウム実施要領

1. 目的

博士後期課程の学生の博士學位論文執筆を支援し、集団指導を受ける機会を設けること。

2. 対象

社会学研究科博士後期課程の2年生および3年生（2019年4月以降の入学者、ただしすでに學位論文計画書を提出し、合格した者を除く）。

強制ではありませんが、該当する学生は特別な事情のない限り参加してください。

3. 日時

2023年2月22日（水）

人数に応じて会場を分割し、zoomによる開催とする。

4. 内容

- ① 報告内容は、博士論文の序章もしくは1章分に相当する内容とする。具体的な内容は、指導教員及び論文指導委員と相談して決定する。
- ② リサーチコロキウムは、2023年度以降に実施予定の新研究分野ごとにセッションを開催する。
- ③ レジюме（パワーポイントやワードなどで作成したもの）を開催1週間前までに指導教員に送付する。レジюмеにあわせてディカッションペーパー（DP: 博士論文執筆へのステップとなる論文草稿や問題意識を文章化したもので特に分量の縛りは設けない）の提出も推奨される。レジюмеについては同様に新分野の全教員に事前に配布されるとともに、リサーチコロキウム当日の参加者にも配布される。またDPについては指導教員が所属する予定の新分野の全教員に配布される。
- ④ 指導教員及び論文指導委員が研究上必要と判断し、承諾した場合には、DPを英語で作成することができる。
- ⑤ 一人当たり報告20分、質疑20分とする。提出されたレジюмеに基づいて報告することを原則とする。
- ⑥ 大学院生はどのセッションにも参加できるものとする。
- ⑦ 先行開催であるため、合否の判定は行わないが、目安となる基準は以下のとおりとする。「學位論文審査の基準」に順じ、以下の点を総合的に考慮して、研究者として自

立した能力を示す学位論文執筆の準備ができていると判断されること。

参考： 学位論文審査の規準

1. 問題意識が明確であり、かつテーマ設定が説得的であること。
2. 当該テーマのための方法が形成されており、かつ全体の叙述の中に貫かれていること。
3. 内外の研究文献と研究状況が必要な限りで把握されており、それを前提として展開されていること。
4. 叙述の過程の中で適切な仕方で論証および実証がなされていること。
5. 結論がそれまでの展開を踏まえて説得的に提示されていること。
6. 全体として、当該テーマに関する従来の研究状況に対して、意識的にオリジナリティーをつけ加えていること。

以上の項目は研究分野によってその必要度が異なるので、それを考慮して柔軟に適用するものとする。

- ⑧ リサーチ・コロキウムでの報告と討議を踏まえ、学位論文計画書を提出すること。
(2023年度入学者までの一時的措置)

5. エントリー

エントリーシートに必要事項を記入し、事務室にメールで送付すること
(soc-km@ad.hit-u.ac.jp)。申込期間は2022年11月9日(水)～2023年1月16日(月)。